

7. 健康・医療

	タイトル	意見等
1	医療DXについて	○後藤田正純徳島県知事は医療DXにおいて「徳島デジタル6G・保健医療ICT光の道」の施策を推進しなければならない。 ※ ICT遠隔地オンライン診療並びにICT遠隔地オンライン処方箋, AIによるICTデータ治療, ICT電子カルテの普及促進
2	医師の人材確保について	○後藤田正純徳島県知事は医師の人材確保の取り組みの施策で、慶応義塾大学医学部医学科に徳島県枠を設置しなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は医師の人材確保の取り組みの施策で、徳島県立中央病院が慶応義塾大学医学部医学科の医学生の臨床医学研修の病院にならなければならない。
3	「新型コロナワクチン接種による予防接種健康被害救済制度について」のページでの情報公開	新型コロナワクチン接種による予防接種健康被害救済制度について https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kenko/kansensho/5049550/ こちらのページで、最新の徳島県下における申請状況の数値を随時更新する形で公開していただきたい。 香川県では同様のページに最新の状況が随時更新されております。 https://www.pref.kagawa.lg.jp/kansensyo/vaccine.html 数値を見ても、多くの県民がこの情報により救済されていると感じます。 徳島県におかれましても、折角「新型コロナワクチン接種による予防接種健康被害救済制度について」のページを開設されておりますので、是非とも申請状況の数値を随時更新する形で掲載していただきたいです。 過去には、目安箱の回答という形で情報がありましたが、救済を必要とする県民はこれからまだまだ増えてくるであろうと予想されます。 平成24年12月4日付けで、日本医師会感染症危機管理対策室長名で都道府県医師会宛に、予防接種健康被害救済制度の周知について という文章にて周知依頼がされており、県の取り組みとしても強化していただきたいと存じます。
4	地府の医師不足対策の施策について	○後藤田正純徳島県知事は慶応義塾大学医学部医学研究科に徳島県地域特別枠を開設して、医師不足の問題を解決しなければならない。また、後藤田正純徳島県知事は、がん研究会有明病院(がん診療連携拠点病院)から徳島県立中央病院(地域がん診療連携拠点病院)にがん専門医師を招聘しなければならない。